

2 生涯学習県民大学講座

1 趣 旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、大学等と連携して、現代的課題等に基づく学習機会の提供を図る。

2 主 催

中央センター。ただし、中央センターと連携して事業を推進する市町村教育委員会も主催とすることができる。

3 内 容

主に現代的課題や社会的要請に基づく内容とし、各会場2講座とし、会場市町村教育委員会が希望する内容とする。ただし、1講座は「教育・子育て」に関わる内容とする。

4 概 要

(1) 会場及び講座数

地 区	市町数	会場数	講座数	開設市町
鹿児島地区	1	1	2	いちき串木野市
南薩地区	1	1	2	指宿市
北薩地区	1	1	2	長島町
始良・伊佐地区	1	1	2	伊佐市
大隅地区	1	1	2	鹿屋市
熊毛地区	2	2	4	西之表市，屋久島町
大島地区	2	2	4	瀬戸内町，徳之島町
かごしま県民交流センター			10	

(2) 実施時間

ア 1講座は、100分～120分程度とし、連続して行う場合は15分以上の休憩を設ける。

イ 同日に2講座を行うことを基本とするが、経費その他日程上可能であれば2日間にわたり実施できる。

(3) 講 師

各講座内容に応じた専門家

(4) 受講者

県民

(5) 定 員

1講座は、30人程度とする(施設の状況に応じて設定)。ただし、2講座を連続して実施する場合であっても受講者の入れ替えは可能とする。

(6) 受講料 無料(原則)

5 その他

(1) 運営は会場市町教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

(2) 各講座名は、中央センター、会場市町村教育委員会、講師が協議の上、会場・講座別に定める。

6 講座一覧及び受講者数

地区等	No.	テーマ及び講座名	講師	期日	時間	会場	受講者数	
							男・女	合計
鹿児島地区	1	教育・子育て 「おかあさんといっしょ！ ～親子で音楽遊び～」	鹿児島女子短期大学 助教 中村 礼香	11/9 (日)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')	いちき串木野市いち きアクアホール (多目的教室)	21	83
	2	健康・福祉 「カライモと魚の組合せは長寿食」	鹿児島女子短期大学 教授 吉元 誠		15:30～17:15 (講座105') 閉講式～17:25		9	
南薩地区	3	教育・子育て 「おかあさんといっしょ！ ～身体表現を通じた音楽遊び～」	鹿児島女子短期大学 助教 中村 礼香	11/30 (日)	開講式13:50～ 14:00～16:00 (講座120') 閉講式～16:10	指宿市時遊館COCCO はしむれ(講堂)	4	43
	4	健康・福祉 「これからのエクササイズ」	鹿屋体育大学 教授 西園 秀嗣	12/5 (金)	開講式9:50～ 10:00～12:00 (講座120') 閉講式～12:10	指宿市中央公民館 (講堂)	5	
北薩地区	5	教育・子育て 「小中学生に対する大人のあり方」	鹿児島大学 教育学部 教授 假屋園 昭彦	8/24 (日)	開講式9:50～ 10:00～12:00 (講座120')	長島町文化ホール (コミュニティル ーム)	14	27
	6	地域・郷土 「地域再生・やる気を起こせば 必ず奇跡が起きる」	鹿屋市串良町 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎		13:00～15:00 (講座120') 閉講式～15:10		29	
始良・伊佐地区	7	教育・子育て 「乳幼児期の感性を育む」	鹿児島大学 教育学部 准教授 金 娟鏡	12/7 (日)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')	伊佐市大口ふれあい センター(多目的 ホール)	6	15
	8	健康・福祉 「コミュニケーションからみた認知症」	志學館大学 人間関係学部 教授 飯干 紀代子		15:00～16:45 (講座105') 閉講式～16:55		9	
大隅地区	9	教育・子育て 「身近で役立つ子育て支援入門」	志學館大学 人間関係学部 講師 石井 佳世	12/10 (水)	開講式9:50～ 10:00～11:45 (講座105')	鹿屋市中央公民館 (集会室)	6	20
	10	健康・福祉 「酵素でわかる食品と医薬品」	鹿児島大学 理学部 准教授 有馬 一成		13:30～15:15 (講座105') 閉講式～15:25		14	
熊毛地区	11	教育・子育て 「子育てに役立つカウンセリングのコツ」	志學館大学 人間関係学部 講師 石井 佳世	9/7 (日)	開講式9:50～ 10:00～12:00 (講座120')	西之表市市民会館 (会議室)	8	33
	12	教育・子育て 「子どもの参加と参画による まちづくりの可能性」	鹿児島大学 教育学部 准教授 金子 満		14:00～16:00 (講座120') 閉講式～16:10		25	
	13	健康・福祉 「筋筋運動のすすめ～in 屋久島～」	鹿屋体育大学 教授 川西 正志	7/26 (土)	開講式9:50～ 10:00～11:50 (講座110')	屋久島町屋久島離島 開発総合センター(会 議室)	16	38
	14	教育・子育て 「子どもの学習意欲の見方・導き方」	鹿児島大学 教育学部 教授 今林 俊一		13:20～15:10 (講座110') 閉講式～15:20		22	
							23	49
							26	
							25	62
							37	

地区等	No.	テーマ及び講座名	講師	期日	時間	会場	受講者数	
							男・女	合計
大島地区	15	地域・郷土 「奄美地域の先史・原史文化」	鹿児島大学 埋蔵文化財調査 センター 助教 新里 貴之	9/6 (土)	開講式13:50～ 14:00～15:35 (講座95') 閉講式～15:45	瀬戸内町立図書館・ 郷土館(視聴覚室)	33	46
						13		
	16	教育・子育て 「子どもを伸ばす『やる気』とは？」	鹿屋体育大学 講師 中本 浩揮	12/7 (日)	開講式9:50～ 10:00～11:30 (講座90') 閉講式～11:40	瀬戸内町中央公民館 (ホール)	27	44
						17		
17	教育・子育て 「誰もが幸せに生きるための人権講座」	県人権同和对策課 研修専門員 鎌田 豊作	8/17 (日)	開講式13:20～ 13:30～15:00 (講座90')	徳之島町生涯学習セ ンター(多目的ホー ル)	19	53	
				15:30～17:00 (講座90')		11		
18	教育・子育て 「地域の物語を紡ぐ人づくり」	鹿児島大学 教育学部 准教授 金子 満		15:30～17:00 (講座90')		29	40	
交流センター	19	教育・子育て 「児童・青年期における発達心理学」	県立短期大学 准教授 石川 満佐育	11/29 (土)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')		4	18
							14	
	20	教育・子育て 「絵本を通して人との関わりを育む」	鹿児島大学 教育学部 准教授 金 娟鏡		15:00～16:45 (講座105')		4	17
					閉講式～16:55	13		
	21	教育・子育て 「伸びる子どもに育てる」	鹿屋体育大学 講師 中本 浩揮	12/13 (土)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')	中研修室2	4	20
							16	
	22	教育・子育て 「学校適応に苦しむ子どもを どう支援するか」	鹿児島大学 教育学部 教授 大坪 治彦		15:00～16:45 (講座105')		5	19
					閉講式～16:55	14		
23	教育・子育て 「子どもの遊びの意味とその見方」	鹿児島国際大学 福祉社会学部 准教授 角野 雅彦	1/17 (土)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')		4	19	
						15		
24	教育・子育て 「正しく食を選ぶ能力は一生の財産」	管理栄養士 長友 ゆかり		15:00～16:45 (講座105')		8	21	
				閉講式～16:55	13			
25	教育・子育て 「わかり方の違う子どもの理解と支援」	鹿児島大学 教育学部 准教授 片岡 美華	1/31 (土)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')		7	28	
						21		
26	教育・子育て 「おとなの学びと公民館」	志學館大学 法学部 教授 岩橋 恵子		15:00～16:45 (講座105')	中研修室1	9	17	
				閉講式～16:55		8		
27	教育・子育て 「これからの地域づくりと大人の学び」	鹿児島大学 生涯学習教育研究 センター 准教授 小栗 有子	2/7 (土)	開講式12:50～ 13:00～14:45 (講座105')		13	19	
						6		
28	教育・子育て 「地域活性化と鹿児島弁活用学」	十文字学園女子大学 教授 松永 修一		15:00～16:45 (講座105')		14	19	
				閉講式～16:55	5			
合計								934

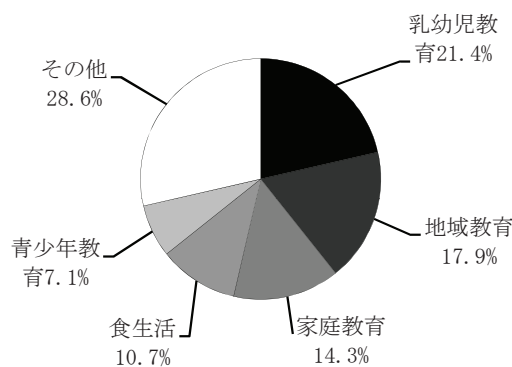
7 テーマ及び内容別受講者数

テーマ	講座内容の要旨	講座数	受講者数	割合	合計	割合
教育・子育て	乳幼児教育	6	197	21.4%	634	67.9%
	地域教育	5	133	17.9%		
	家庭教育	4	159	14.3%		
	青少年教育	2	45	7.1%		
	教育問題	1	19	3.6%		
	人権教育	1	53	3.6%		
	特別支援教育	1	28	3.6%		
健康・福祉	食生活	3	85	10.7%	191	20.4%
	運動	2	92	7.1%		
	介護・看護	1	14	3.6%		
地域・郷土	地域活性	1	63	3.6%	109	11.7%
	郷土理解	1	46	3.6%		
合計		28	934	100.0%	934	100.0%

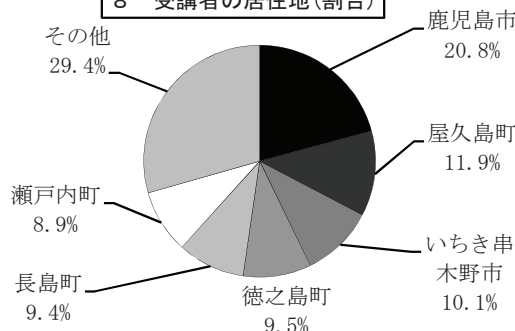
8 受講者の居住地

No.	市町村	受講者数	割合
1	鹿児島市	194	20.8%
2	屋久島町	111	11.9%
3	いちき串木野市	94	10.1%
4	徳之島町	89	9.5%
5	長島町	88	9.4%
6	瀬戸内町	83	8.9%
7	指宿市	71	7.6%
8	西之表市	71	7.6%
9	鹿屋市	47	5.0%
10	伊佐市	22	2.4%
11	始良市	18	1.9%
12	日置市	12	1.3%
13	出水市	4	0.4%
14	さつま町	4	0.4%
15	霧島市	4	0.4%
16	伊仙町	4	0.4%
17	曾於市	3	0.3%
18	薩摩川内市	3	0.3%
19	奄美市	3	0.3%
20	南さつま市	2	0.2%
21	阿久根市	2	0.2%
22	大崎町	1	0.1%
23	宇検村	1	0.1%
24	県外	3	0.3%
	合計	934	100.0%

7 内容別受講者数(割合)



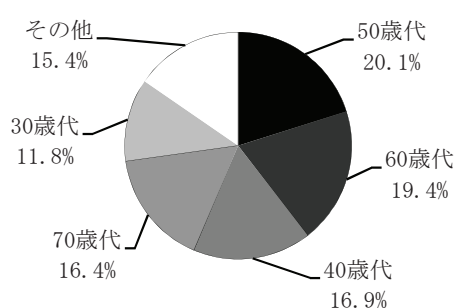
8 受講者の居住地(割合)



9 受講者の年齢及び性別

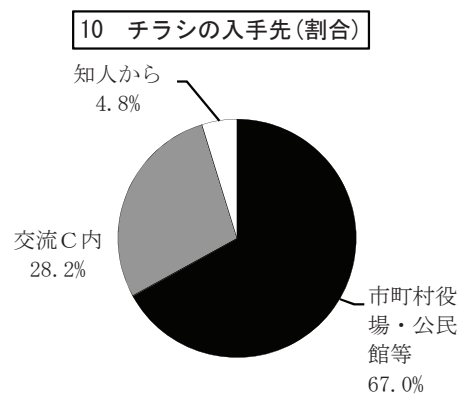
年齢	男	女	合計	割合
10歳未満	22	29	51	5.5%
10歳代	4	15	19	2.0%
20歳代	4	40	44	4.7%
30歳代	28	82	110	11.8%
40歳代	51	107	158	16.9%
50歳代	75	113	188	20.1%
60歳代	74	107	181	19.4%
70歳代	71	82	153	16.4%
80歳以上	13	17	30	3.2%
合計	342	592	934	100.0%
割合	36.6%	63.4%	100.0%	

9 受講者の年齢(割合)



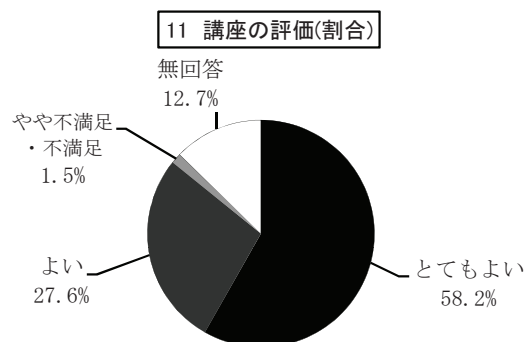
10 講座チラシ入手先

会場市町	役場等	交流C	知人	合計
いちき串木野市	9		6	15
指宿市	23			23
長島町	16		2	18
伊佐市	7			7
鹿屋市	7			7
西之表市	24		3	27
屋久島町	13	1		14
瀬戸内町	30			30
徳之島町	16		2	18
交流センター	52	82	1	135
合計	197	83	14	294
割合	67.0%	28.2%	4.8%	100.0%



11 講座の評価(受講者へのアンケート結果から)

項目	人数	割合
とてもよい	406	58.1%
よい	193	27.6%
やや不満足	10	1.4%
不満足	1	0.1%
無回答	89	12.7%
合計	699	100.0%



12 各講座の概要

(1) 鹿児島地区会場(いちき串木野市)

ア 「おかあさんといっしょ！～親子で音楽遊び～」

(ア) 講師

中村 礼香(鹿児島女子短期大学 助教)

(イ) 内容

乳幼児とその保護者等を対象にしたリトミック体験，リトミックについての説明，音楽に合わせて歩く・ボールで遊ぶ・絵本を使つてのリトミックなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 親子で楽しく参加できた。いろいろな遊ばせ方を学べてよかった。(40代・女)
- ・ 子どもたちの姿を見て，歌うことの楽しさを改めて実感できた。(40代・女)
- ・ 父・母・子で一緒に楽しく過ごすことができよかった。どんどん引き込まれて楽しい時間だった。(40代・女)
- ・ 音楽を使った子どもの情操教育の大切さがよく分かった。音楽がある中で活動することで子どもたちはより積極的に遊んでいたように思う。(40代・女)
- ・ 会場が狭い。不要な物を撤去してほしい。(30代・女，他)



講師；中村 礼香 氏



講座の様子

イ 「カライモと魚の組合せは長寿食」

(ア) 講師

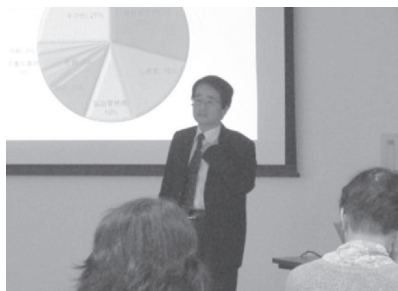
吉元 誠(鹿児島女子短期大学 教授)

(イ) 内容

食事内容と健康との関係を示す各種調査結果に基づくデータの説明，サツマイモと魚を組み合わせた料理の効能，それを食べ続けることの健康への効果に関する説明など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 身近な食品を取り上げてくださり，今日からの食生活のヒントになった。(50代・女，他)
- ・ 母を思い出した。両方の食材とも身近にあるので今日の講座を思い出しながら食べたいと思う。(60代・女)
- ・ 自分たちの食について科学的に理解できた。今後も毎日の食について気をつけていきたいと思う。(60代，女)
- ・ 栄養のことなどについてとても勉強になり，参加してよかった。(50代・女，他)
- ・ 田舎では食生活に対する意識も様々。この講座をもっと広めるべき。(50代・女)



講師；吉元 誠 氏



講座の様子

(2) 南薩地区会場(指宿市)

ア 「おかあさんといっしょ!～身体表現を通した音楽遊び～」

(ア) 講師

中村 礼香(鹿児島女子短期大学 助教)

(イ) 内容

乳幼児とその保護者等を対象にしたリトミック体験，リトミックについての説明，音楽に合わせて歩く・ボールで遊ぶ・絵本を使つてのリトミックなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ リトミックなどを親子で楽しめてよかった。(20代・女)
- ・ リトミックで使うおもちゃづくりでも子どもたちは楽しんでた。(30代・女)
- ・ リトミックで，コミュニケーション力，思考力，創造力，集中力などが養えるということが実感として理解できた。子どもにこのような体験をたくさんさせていきたい。(40代・女)
- ・ 2時間の講座は子どもにとって少し長いかと思っていたが，いろいろな体験を楽しめてあっという間に過ぎた。(30代・女)
- ・ 受講者が少ない。(30代・女)



講師；中村 礼香 氏



講座の様子

イ 「これからのエクササイズ」

(ア) 講師

西 菌 秀 嗣(鹿屋体育大学 教授)

(イ) 内容

腰痛，肩こりなどの原因とその予防としてのコアトレーニングに関する講義，椅子を使った体操，立ち姿勢・歩行のポイント，呼吸法など，日常生活で実践できる実技の指導など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 資料付の講座でとてもよい勉強になった。(70代・女,他)
- ・ コアトレーニングなどの大切さが分かった。明日朝一番にやってみたい。(60代・女)
- ・ 体を動かすのがとても気持ちよく，基本のエクササイズを家でもしたい。(70代・女)
- ・ この講座は県下全域で実施した方がよい。(70代・男)
- ・ 資料の文字をもう少し大きめにしてほしい。(60代・女)
- ・ 日常生活の中で意識すればできることが分かりとても役に立つ。(60代・女)
- ・ とてもよかった。しっかりできるようにしようと思った。(60代・女)



講師；西菌 秀嗣 氏



講座の様子

(3) 北薩地区会場(長島町)

ア 「小中学生に対する大人のあり方」

(ア) 講師

假屋園 昭彦(鹿児島大学 教育学部 教授)

(イ) 内容

児童期に体験し習得しておくべき発達課題や思春期の特徴, 大人の役割, 何のために勉強するのかなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 子どもに対する親の接し方について改めて考える機会になった。(50代・女)
- ・ 子どもたちに身に付けさせるべき能力等がとてもよく分かった。(50代・男)
- ・ 日頃気づいていないことがたくさんあることが分かった。参考にしたい。(70代・男)
- ・ 親のあり方について随分考えさせられた。不登校に関する話はためになった。(30代・女)
- ・ 質疑や意見交換の時間がほしかった。(30代・女)



講師；假屋園 昭彦 氏



講座の様子

イ 「地域再生・やる気を起こせば必ず奇跡が起きる」

(ア) 講師

豊重 哲郎(鹿屋市串良町柳谷自治公民館 館長)

(イ) 内容

メッセージ放送やわくわく運動遊園建設, 土着菌開発など, 鹿屋市柳谷地区の活性化までの経緯や内容, 地域の活動源は「人」であることなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ とてもよかった。このような講座を定期的に望む。(70代・男, 他)
- ・ もう一度聞きたい。町の車で鹿屋のやねだんに連れて行ってほしい。(70代・男)
- ・ 講師の創造力と努力, 厳しさと温かさで地域に臨む姿に感動した。(70代・女, 他)
- ・ 2時間は短かった。大変聞きやすく, 飽きずに勉強できた。(70代・女)
- ・ 地域再生にはビジネス化と自主財源が必要だということが分かった。(60代・男)
- ・ 集落人口の子どもの比率を10~15%にするやねだんの目標は身にしみた。(60代・女)
- ・ 共同作業に参加できない人はどうするのか知りたい。(70代・男)



講師；豊重 哲郎 氏



講座の様子

(4) 始良・伊佐地区会場(伊佐市)

ア 「乳幼児の感性を育む」

(ア) 講師

金 娟 鏡(鹿児島大学 教育学部 准教授)

(イ) 内容

感性の育ちと重要性、乳児期・幼児期の感性の特性と五感に働きかける様々な遊び(協同遊び・ごっこ遊び)など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 絵本がとても大切だという理由がこれまで以上によく分かった。(30代・女)
- ・ 学童指導員として小1～4をみているが、子どもたちもこうして感性を育んできたのかと思った。(50代・女)
- ・ 児童教育が一番大切な今日、教育がテーマの講座を今後も受講したい。(50代・女)
- ・ 子どもの感性の育み方について分かりやすく説明していただき、とてもよく理解できた。(40代・女)
- ・ 会場が広くて寒かった。集中できない。(30代・女)



講師；金 娟鏡 氏



講座の様子

イ 「コミュニケーションからみた認知症」

(ア) 講師

飯 干 紀 代 子(志学館大学 人間関係学部 教授)

(イ) 内容

認知症の原因となる疾患、認知症の障害の構造と特徴、認知症とコミュニケーション、言語障害、視覚障害への対応、メモリーブックの作成、意欲を高める生活スタイルなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ とても分かりやすく理解できた。学生の気分になった。(70代・女)
- ・ 認知症も予防できることが分かり大変参考になった。(30代・女)
- ・ 職場で生かせるよう他の職員にも伝達したい。(40代・女)
- ・ コミュニケーションの大切さを学問的によく理解できた。認知症の予防方法や改善方法を学べてとてもためになった。(50代・女)
- ・ 受講者が少ないことに驚いた。(70代・女)



講師；飯干 紀代子 氏



講座の様子

(5) 大隅地区会場(鹿屋市)

ア 「身近で役立つ子育て支援入門」

(ア) 講師

石井 佳世(志學館大学 人間関係学部 講師)

(イ) 内容

乳幼児の発達、乳幼児とのコミュニケーションの大切さ、子どもの気になる行動・困った行動に対する対応や具体的な言葉かけなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 子育て真っ最中で頷くことも多かった。子どものサインを見逃さないように子どもと向き合う時間を意識して持ちたいと思った。(30代・女)
- ・ とてもよい講座だった。できれば妊娠中の若い方々に聞かせられたらいいと思う。(50代・女)
- ・ 子どもの各年齢に合わせた非常に分かりやすく実践に生かせる学習だった。(70代・女)
- ・ 子ども3人に対して1対1で10分ずつは難しいが、それぞれが選んだ絵本をみんなで読んでも子どもの発達に良いことを学べて安心した。(40代・女)
- ・ 質問できる時間があるとよいと思った。(30代・男)



講師；石井 佳世 氏



講座の様子

ア 「酵素でわかる食品と医薬品」

(ア) 講師

有馬 一成(鹿児島大学 理学部 准教授)

(イ) 内容

タンパク質や酵素のはたらき、医薬品や健康食品が人間の体に及ぼす影響、医薬品や健康食品の上手な使い方、健康食品、薬事法など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 丁寧な説明をしていただき何とか理解できた。受講してよかった。(60代・女)
- ・ 身近にある酵素について学べた。今後は食品や薬品の表示を見て購入したい。(60代・女)
- ・ 高血圧の私にとっていい学習になった。ありがとうございました。(60代・男)
- ・ 鹿児島市内だけでなく本講座のように地方でもっと開催してほしい。(60代・女)
- ・ 健康食品などの表示のことばにだまされないように考えて生活していきたい。(50代・女)
- ・ コラーゲンのところをもう少しゆっくり話してほしい。(60代・女)



講師；有馬 一成 氏



講座の様子

(6) 熊毛地区会場(西之表市)

ア 「子育てに役立つカウンセリングのコツ」

(ア) 講師

石井 佳世(志學館大学 人間関係学部 講師)

(イ) 内容

子育てとカウンセリングの関係, 子どもとのコミュニケーションの大切さとそのポイント, 子育ての妨げになるコミュニケーション, 耳を傾ける(傾聴)のコツなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 説明が具体的で分かりやすく, 奥が深く参考になった。(30代・男)
- ・ 体験談を交えた話がよかった。今後に活用したい。(40代・女)
- ・ 孫に接するときの心構えができてありがたい。(60代・男)
- ・ 子育てに参考になることがとても多かった。孫や地域の子どもたちに接するときに役立てたい。(60代・女)
- ・ 冷房が効きすぎて寒かった。(40代・女)



講師;石井 佳世 氏



講座の様子

イ 「子どもの参加と参画によるまちづくりの可能性」

(ア) 講師

金子 満(鹿児島大学 教育学部 准教授)

(イ) 内容

誰からも傷つけられたくない傷つけたくない繊細な気配りを示す現代の子どもの現状, 子どもを取り巻く社会環境の変化, 子どもの参加や参画によるまちづくりの重要性など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ まちづくりに子どもが参加・参画することの重要性が分かった。(40代・女)
- ・ 自分がしていることと照らし合わせて考え, ヒントをもらうことができた。(40代・男)
- ・ 地域の人々の力を, 子どもの参加・参画につなげる方法があればいいと思う。(50代・男)
- ・ 西之表市がイキイキとした元気のある地域になっていけたらと願う。私たちが変わるべきだということがよく分かった。(50代・女)
- ・ 掘り下げた内容をたくさん聞いたかった。(40代・女)



講師;金子 満 氏



講座の様子

(7) 熊毛地区会場(屋久島町)

ア 「貯筋運動のすすめ ～in 屋久島～」

(ア) 講師

川西 正志(鹿屋体育大学 教授)

(イ) 内容

高齢者の運動・健康に関する社会的現状，高齢者の筋力トレーニングの必要性，「貯筋運動」の特徴及びプログラム，実技指導など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 楽しい運動なので継続できると思う。(70代・女)
- ・ 介護教室等で取り入れたらより充実すると思う。(60代・男)
- ・ 離島ではなかなか受講できない良い講座だった。(70代・男)
- ・ 改めて運動の大切さを知った。(60代・男)
- ・ 資料の活字を大きくしてほしい。(70代・女)
- ・ 旧屋久島町と旧上屋久町との中間の場所で開催してほしい。(70代・男)



講師；川西 正志 氏



講座の様子

イ 「子どもの学習意欲の見方・導き方」

(ア) 講師

今林 俊一(鹿児島大学 教育学部 教授)

(イ) 内容

秋田県や福井県の子どもの学力・体力が高い理由，「意欲」の本質的な意味，子どものやる気と親・教師の関わりなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 相手にも，自分にも寛容になれた気がする。(40代・男)
- ・ 親が子どもにかかる言葉のやる気への影響や，欠点の指摘でなく誉めることのいかに大切かをよく理解できた。(40代・女)
- ・ 子どもの見方，やる気の持たせ方の勉強になった。自分もやる気が出た。(50代・女)
- ・ 「あるようでないのが知識。ないようであるのがプライド」が記憶に残る。(40代・女)
- ・ 子どものやる気を育てることの大切さがよく分かった。(50代・女)



講師；今林 俊一 氏



講座の様子

(8) 大島地区会場(瀬戸内町)

ア 「奄美地域の先史・原史文化」

(ア) 講師

新里 貴之(鹿児島大学 埋蔵文化財調査センター 助教)

(イ) 内容

請島・与路島の遺跡分布，徳之島トマチン遺跡，沖永良部島鳳雛洞・大山水鏡洞の各調査結果の分析と考察，地域資源としての魅力など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 奄美の先人の生活様式が想像できた。(60代・男)
- ・ 分かりやすく驚く内容が多かった。先人の暮らしや風習が特に興味深かった。(20代・男)
- ・ 徳之島，沖永良部島の話など，貴重な話を聞くことができよかった。(60代・女)
- ・ 講座の内容を，DVD，インターネットで配信できるといいと思った。(60代・男)
- ・ 講座時間があと30分ぐらい長くてもよい。(50代・男)



講師；新里 貴之 氏



講座の様子

ア 「子どもを伸ばす『やる気』とは？」

(ア) 講師

中本 浩揮(鹿屋体育大学 准教授)

(イ) 内容

やる気が大切な理由や努力と才能の関係に関する科学的データの説明，努力が大事と思える子どもを育てる，失敗から学ぶ力をつける，一流選手を育てた親のサポートから学ぶなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ スポーツや勉強だけでなく，日常生活に大切なことを学ぶことができた。(20代・女)
- ・ 子どもたちの多くは才能思考だと思う。(世の中の多くの親がそうであるから) この講話を教育者・指導者だけでなく，保護者も聞く機会があればいいと思った。(30代・女)
- ・ 周囲の環境，大人の考え方が子どものやる気に影響し，努力をすれば変わることができると思うことが大切だということを，もっと多くの人に聞いてほしい。(40代・女)
- ・ 目標を立て，それに向けて努力をすることの大切さを再認識させられた。(40代・女, 他)
- ・ 子育て中の親にも聞いてもらいたい。講座中の託児ができればよい。(30代・男)



講師；中本 浩揮 氏



講座の様子

(9) 大島地区会場(徳之島町)

ア 「誰もが幸せに生きるための人権講座」

(ア) 講師

鎌田 豊作(鹿児島県人権同和対策課 研修専門員)

(イ) 内容

誰もが幸せに生きること，その考えを皆が持つことの大切さの説明，過去にあった様々な人権問題に関する問題点の分析及びその影響の説明など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 偏見や思い込みが差別につながるということが分かった。(30代・女)
- ・ 人にとって大切な心のあり方を教えられ感謝。(60代・男)
- ・ 人権は身近なことであり，思いやりをもって生活していくべきと思った。(30代・男)
- ・ 違いを受け入れて思いやることが大切だということが最も印象に残った。(40代・女)
- ・ 盆の直後の開催は，行事等が重なりせっかくの講座がもったいない(30代・女)
- ・ 内容の一つ一つに感動した。今一度生き方をしっかり考えていきたい。(60代・男)



講師；鎌田 豊作 氏



講座の様子

イ 「地域の物語を紡ぐ人づくり」

(ア) 講師

金子 満(鹿児島大学 教育学部 准教授)

(イ) 内容

現代社会及び地域が持つ構造的な問題点，共生協働のまちづくりや持続可能な発展のための教育の必要性，これからの地域のあり方とそこに暮らす人々に必要な考え方など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 「弱い紐帯」，「強い紐帯」の話がおもしろかった。(70代・男)
- ・ 徳之島には人とのつながりがある。その維持のために考え努力していきたい。(60代・男)
- ・ 今後の社会の方向性に示唆をもらった。共生・協働について考えさせられた。(60代・女)
- ・ ソーシャルキャピタルや世代間のことばの変化などが最も印象に残った。また，地域社会や町づくりのことについても皆で考えるべきことだと思った。(20代・女)
- ・ 内容が少し難しい気がした。地域を越えた活動が課題であることは分かった。(50代・女)



講師；金子 満 氏



講座の様子

(10) 交流センター会場

ア 「児童・青年期における発達心理学」

(ア) 講師

石川 満 佐 育(鹿児島県立短期大学 准教授)

(イ) 内容

子どもの心理的な発達と変化，思春期の特徴，思春期に好発する精神疾患とその対応，子どもを勇気づける方法や褒めることの目的など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 子どもの心理を理解する努力が必要だと思った。(40代・男)
- ・ 興味深く楽しく拝聴した。子育て中で学びを深める機会がなかなか持てないが，今回の講座で大学の先生のお話を伺えて本当に貴重な経験となった。(30代・女)
- ・ 興味深い内容の講話だった。子どもの気持ちがとてもよく理解できた。(50代・女)
- ・ 子どもへの声かけについて改めて考える機会になり，とても有意義な時間だった。(40代・女)
- ・ 受講者募集のチラシを見かけなかった。配布されていたのか。(50代・女)



講師；石川 満佐育 氏



講座の様子

イ 「絵本を通して人との関わりを育む」

(ア) 講師

金 娟 鏡(鹿児島大学 教育学部 准教授)

(イ) 内容

子どもの育ちと絵本の意義，絵本の紹介とそれぞれの特徴，乳幼児期の絵本の読み聞かせの方法，幼少期の「絵本経験」が青年期に及ぼす影響など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 面白く聴くことができた。今後に役立てていきたい。(60代・男)
- ・ 子どもに絵本の読み聞かせをするときに，気をつけるべきポイントがよく分かった。(30代・女)
- ・ 子どものためだけでなく，自分のための絵本も見つけてみたいと思った。(30代・女)
- ・ 絵本の講座を聞きたいと常々思っていたのでこの講座に出会えて本当に良かった。(60代・女)
- ・ 配布された資料に，説明で使われた統計やグラフなども入れてほしかった。(30代・男)



講師；金 娟鏡 氏



講座の様子

ウ 「伸びる子どもに育てる」

(ア) 講師

中本 浩揮(鹿屋体育大学 准教授)

(イ) 内容

伸びる子とやる気の実態, 才能と努力の関係, 意図的・計画的練習ルールとその効果, 能力観と目標の持ち方, 課題志向への転換, 一流から学ぶ努力の方法など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ とても身近で考えることの多い講座だった。わかりやすく適切なアドバイスで楽しかった。(40代・女)
- ・ 日々の子どもへの接し方について多くの気づきをいただいた。(30代・女)
- ・ 教育や子育ての仕事に活かせる内容が盛りだくさんで大変役立つ講座だった。(50代・女)
- ・ 心に残る講座だった。もっと早く聞いて子育てに活かしたかった。(50代・男)
- ・ 受講者募集のチラシを前日に見つけた。もっと広く広報してほしい。(30代・女)



講師；中本 浩揮 氏



講座の様子

エ 「学校適応に苦しむ子どもをどう支援するか」

(ア) 講師

大坪 治彦(鹿児島大学 教育学部 教授)

(イ) 内容

不登校に苦しむ子どもたちの現状, 支援のあり方, 発達障害の児童・生徒と学校環境との関係, 子どもに自信をつけさせる方法, 「失敗学」という考え方など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ とても分かりやすく楽しくお話いただき, 自分のことに置きかえて考えることができ, 有意義だった。ぜひ継続して講座を受けたい。(40代・女)
- ・ 自分の子のことなので勉強したかった。新たに知識を得て大変よかった。(40代・女)
- ・ 現代が抱える課題をとりあげていただいた。周りが変わることの大切さを広めることができたらいいなと思った。今必要な力についてもっと学びたい。(60代・女)
- ・ 子どもと学校と地域が一緒になっているいろいろな問題に取り組んでいくことが必要だと思った。(70代・男)
- ・ 説明が丁寧で, 分かりやすく, 理解することができた。(70代・男)



講師；大坪 治彦 氏



講座の様子

オ 「子どもの遊びの意味とその見方」

(ア) 講師

角野 雅彦(鹿児島国際大学 福祉社会学部 准教授)

(イ) 内容

西欧社会の「子ども観」の変遷と時代背景, 日本社会の「子ども観」の特徴, 子どもの無邪気な遊びの意味, グリーフワークや「かごめかごめ」, 「鬼ごっこ」などの異界体験の要素が含まれる遊びの共通点など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 子どもの教育の根源, 西欧の歴史における子ども観, キンダーガーデンの始まり等, とても勉強になった。(60代・女)
- ・ 子どもたちに対する社会の目の厳しさを感じていたが, 昔はもっとひどかったのだと知った。課題を乗り越えるために遊んでいるという視点で子どもを見たいと思う。(30代・女)
- ・ 遊びには深い理由があり, 遊びを理解することが子どもの理解につながるがよくわかった。(40代・女)
- ・ 非常に素晴らしい講座だった。角野先生の講座があればまた受講したい。(30代・男)
- ・ 思っていた内容と違った。講座時間が長いので休息がほしい。(40代・女)



講師; 角野 雅彦 氏



講座の様子

カ 「正しく食を選ぶ能力は一生の財産」

(ア) 講師

長友 ゆかり(管理栄養士)

(イ) 内容

講師の子育ての経験から考案された食生活の望ましいあり方と郷土料理レシピ, コミュニケーションとしての食事の効果, 健やかな身体と頭脳の成長のための栄養素など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ とても良い講座だった。知人にも勧めたい。(50代・女)
- ・ バランスよく食べること, 朝食を食べることを実行したい。(80代・女)
- ・ 知らないことへの気づきが多く大変良かった。自分を見直す機会になった。(60代・男)
- ・ 「食」について理路整然とした魅力ある流暢な語り口に本当に感動した。生活に取り入れたい。(60代・女)



講師; 長友 ゆかり 氏



講座の様子

キ 「わかり方の違う子どもの理解と支援」

(ア) 講師

片岡 美華(鹿児島大学 教育学部 准教授)

(イ) 内容

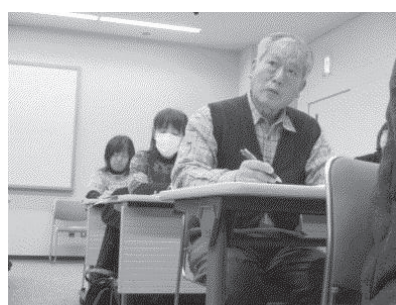
学校や社会の中で支援が必要な子どもの理解，なぜ支援が必要か，誰もができる支援，ユニバーサルデザインなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 学術的な側面から具体的な方法までとても分かりやすかった。(50代・女)
- ・ すかさず褒めることを実践していこうと思った。(50代・女)
- ・ 子どもの発達障害のことで対応法のヒントをいただいた。また特別支援教育の講座を開いてほしい。(40代・女)
- ・ 我が子も発達障害がある。子どものことをさらによく理解できた。(30代・女)
- ・ 具体的な事例をもっと聞きたかった。(40代・女)



講師；片岡 美華 氏



講座の様子

ク 「おとなの学びと公民館」

(ア) 講師

岩橋 恵子(志学館大学 法学部 教授)

(イ) 内容

「おとなの学び」の現状，おとなが学ぶことの意味，学びの拠点としての公民館，「公民館での学び」に学ぶなど

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 内容が具体的で，分かりやすく大変勉強になった。(60代・男)
- ・ 地域に根ざした学び，何ができるかについて考えさせられた。(70代・男)
- ・ 公民館はこれからますます大事になっていくと思う。(40代・女)
- ・ 身近な課題などについて丁寧なお話だった。新たな学びに感謝したい。(60代・男)
- ・ 配付資料中の写真が説明が小さい。(70代・男)



講師；岩橋 恵子 氏



講座の様子

ケ 「これからの地域づくりと大人の学び」

(ア) 講師

小栗 有子(鹿児島大学 生涯学習教育研究センター 准教授)

(イ) 内容

「子どもの学び」と「大人の学び」の違い、学習の目的と機会、「地域」の捉え方、地域を捉える眼差し、地域をつくる3つの視点など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 具体例を挙げての講義で学びが深まった。(70代・男)
- ・ 先生のお話に目からウロコだった。(60代・男)
- ・ 自らの人生の方向性に大変多くの学びがあった。(50代・女)
- ・ 「大人の学び」という深いテーマに興味をわき受講した。様々な視点、方向性など興味深かった。(30代・女)
- ・ 講座を13:30から1講座90分程度で行ってほしい。(60代・女)



講師；小栗 有子 氏



講座の様子

コ 「地域活性化と鹿児島弁活用学」

(ア) 講師

松永 修一(十文字学園女子大学 教授)

(イ) 内容

方言の価値と地域との関係、地域資源としての方言を地域活性につなげることの意義と可能性、方言を核とした地域活性の具体的な事例、など

(ウ) 受講者の主な感想

- ・ 幸せとは何か、豊かさとは何かについて、じっくり考える機会が持ててよかった。鹿児島弁の持つ可能性に期待したい。(50代・男)
- ・ グループワーク形式のおかげで、受講者同士で語り合いながら楽しく積極的に受講できた。(50代・女)
- ・ 講師の今後の講座予定を知りたい。3回位に分けて細かに学びたい。(60代・男)
- ・ 方言が地域のつながりの元になることがよく分かった。大切にしていきたい。(60代・男)
- ・ 時間設定に疑問。グループワークは何だったのか。(70代・男)



講師；松永 修一 氏



講座の様子